

# いざ後半戦！！2部リーグ優勝へ向けて

残念ながら大臣杯予選から早々と姿を消してしまった駒大、次戦は九月の後期リーグ戦である。長い準備期間を有効に使い、今度こそ選手たち自身が満足できる最高の結果をつかみ取ってほしい。前期リーグは昇格圏内の2位で終えることができた駒大。だがこれからの後期戦、一部昇格に向けまだまだに負けられない戦いが続く。

## FW 小牟田洋祐

高さを生かし駒大の攻撃の起点となっている選手。また、その恵まれた体格だけでなく足下のうまさも兼ね備えており、神大戦では相手 DF 二人をドリブルで抜き去りゴールを奪った。得点ランキングは山本に次ぐ2位。後期戦も攻撃の中心選手としてチームを引っ張り、駒大を念願の一部昇格に導いてほしい。



## DF 田中雄一

常に安定感を感じさせるパフォーマンスを見せる選手。精度のあるキックで駒大得意のセットプレーを支えている。ボールを保持するたびに、駒大のチャンスが訪れるのでは、と期待させる選手で、アシストランキングはDFながら現在2位であり駒大の攻守に欠かせない存在だ。後期戦もその持ち味を存分に生かし、大学最後の年を納得のできる結果で締めくくってほしい。

## MF キム・デセン

フィジカルの強さとスピード、テクニックを備え付けた大物一年生。前期戦はスーパーサブとして出場し必ず結果を残してきたが、体力のなさから長い時間の出場はなかった。後期戦までに90分間走り切れる体力を身に着けることができれば、彼の存在で駒大の優勝がかなり近づくだろう。



後半戦では一部昇格はもちろん2部リーグの優勝を目指して戦ってほしい。現在1位の東京国際大学とは勝ち点差4であり、長いリーグ戦で安定して勝ちを重ねるためには選手層の厚さがどうしても必要になるだろう。もちろん、万が一キャプテンの碓井や攻撃の起点になる小牟田などが試合に出場できなくなってしまう際にも勝たなければならない。後期リーグまでの長い準備期間で二年生の立石や一年生の大谷などの若い選手が、その抜けた穴をしっかりと埋められるようになれば駒大は最高の結果を手に入れることができるだろう。